

見附市指定管理者管理運営状況評価結果

令和7年6月30日に管理業務の評価を行った結果は、次のとおりでした。

施設名	見附市コミュニティ銭湯		
指定管理者	株式会社 本久	所管課	地域経済課
評価対象年度	令和6年度		
【所管課の総合評価】			
合計得点	91.2	評価ランク	A
所管課の講評			
指定管理者独自のイベント企画及び実施、外部への周知PRなどもあり、来場者数はコロナ禍前の状況へ回復しつつある。最低賃金改定に伴う人件費の増加や各種物価高騰の影響もあり支出額が増加したものの、来場者数の回復に伴う入浴料及び飲食・ボディーケア料の増加などによる収入額が増加したこともあり、最終的には1,020万円の黒字となった。 2年連続で1,000万円を超える黒字となったものの、年間の来場者数においてはコロナ禍前に戻り切っていない状況である。今後もまちなか賑わいづくりの拠点施設として魅力を引き出せるよう、指定管理者や市内事業者との連携を密に行っていく。			
【評価委員会の総合評価】			
合計得点	88.7	評価ランク	A
評価委員会の講評			
当該施設は、県内では数少ないロウリュウサービスを提供するコミュニティ銭湯である。充実した施設と安全・安心・清潔に留意した運営、質の高いサービスにより、市内外から多くの入場者がある。リピーターが多いことから、その集客能力の高さが理解できる。入場者数を高いレベルで維持できているのは、関係スタッフの接客態度が良好であること、安全・安心・清潔を重視して施設を運営していること、様々なメディアを通じてストロングポイントをしっかりとPRしていること、および利用者を飽きさせないイベントやサービスを継続的に提供していることが要因と考えられる。そのかいあって、計画以上の収入が得られ、事業収支は黒字となっている。しかしながら、人件費や消耗品費の上昇が継続しており、今後はこれらに加えて光熱水費や燃料費の支出上昇も予想されることから、収支決算の黒字幅が縮小ぎみになることが懸念される。また、修繕費の支出も考慮しておかなければならない。今後とも、市とも相談して対応策を講じながら、質の高いサービスと安全・安心・清潔を維持して施設運営にあたっていただきたい。			

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる。（合計得点が80点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる。（合計得点が70点以上80点未満）
- C：総合評価の結果、概ね適正であると認められる。（合計得点が60点以上70点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる。（合計得点が30点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなり努力が必要であると認められる。（合計得点が30点未満）